

大津町 架け橋期カリキュラム（令和7年度版）

大津町教育理念
夢を持ち 夢を育み 夢を叶える教育実践～生きる力を身につけ、よき社会の形成者として未来を拓く子どもの育成～

遊びを通した学びのプロセスで大切にしたいキーワード

出会う

関わる

力を
合わせる

気付く

伝える

試す

①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形、標識や文字への関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

	保 育 園 ・ 幼 稚 園 ・ 認 定 こ ど も 園 等		小 学 校	
	前期（４月から１０月上旬まで）	後期（１０月中旬から３月まで）	前期（４月から１０月上旬まで）	後期（１０月中旬から３月まで）
めざす子どもの姿	・年長として、意欲と自信をもって自分のできることをしよう したり、友達と一緒に取り組んでいく楽しさを感じたりする。 ・遊びの中で気付いたり発見したりしたことを伝え合う。 ・友達同士で刺激し合い、思いを伝え合ってイメージを共有し、 力を合わせて遊びや生活を進める中でなかま意識を高める。	・友達と共通の目的に向かい、友達と協力して、試したり工夫 したりしながら遊びや生活を進めていく楽しさを味わう。 ・遊びの中で数や量を比べたり、興味を持ったりする。 ・遊びや生活を自分たちでつくっていく中で、一人一人のよさ が生かされている。	・幼児期の経験を生かしながら安心して自分を発揮し、先生や 友達と一緒に取り組んでいる。 ・様々な人と関わり、感じたことや考えたことを伝えている。 ・身近な自然を観察したり、地域の行事に関わったりするなど の活動を通して、そのすばらしさに気づき、親しみをもって関 わりようとしている。	・互いの話に関心を持ち、相手の思いや考えを受けて話したり、 聞いたりしている。 ・自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長 に気づき、集団の一員としての存在や役割の自覚を持つ。 ・支えてくれている人々に感謝の気持ちを持ち、自分の成長へ の期待をもって意欲的に生活しようとしている。
生活や遊びを通した活動	興味・関心をもって自然物に親しむ 身近な虫、草花、野菜や花の栽培、生き物の世話 水・砂・泥などを使った遊び 色水、砂場、泥だんこ 身体を使った遊び 外遊び、水遊び 五領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）	秋の自然を取り入れた遊び 落ち葉、草花 昔遊び・正月遊び わらべうた 伝統的な遊び 楽器を使った遊び 踊り、表現遊び もうすぐ１ねんせい 卒園に向けて 国語・算数・生活・音楽・体育・図工・道徳・特別活動	ときどきわくわく １ねんせい はなをさかせよう （生活・国語・算数・図画工作） スタートカリキュラム がっこうだいすき（がっこうたんけん） （生活・国語・算数・図画工作・特別活動・道徳） 国語・算数・生活・音楽・体育・図工・道徳・特別活動	たのしいあきいっぱい （生活・国語・算数・図画工 作・音楽・道徳） じぶんのできるよ （生活・国語・算数・道徳） いきものとなかよし （生活・国語・算数・道徳） ふゆをたのしもう （生活・国語・図画工作・体育） もうすぐ２年生 （生活・国語・図画工作・音楽） 国語・算数・生活・音楽・体育・図工・道徳・特別活動
活動交流	年長児としての自覚を持ち、年齢が下の子どもたちと関わりな がら遊ぶことができる。 小学校１年生の授業参観・情報交換会	入学への期待感を持ち、１年生と仲良く活動することができる。 一人一人の思いや願いが実現できるような関わりを大切にする	１年生同士の交流や上級生と関わり、一緒に楽しく活動するこ とができる。 園の保育参観・情報交換会	新しい１年生との交流会のために、内容を考えたり工夫したり し、リードしながら活動することができる。
指導上の留意事項	・やっといこうとする姿や気持ちを認め励ます。 ・一人一人の楽しみ方を受け止める。 ・友達と一緒に遊ぶ楽しさに共感していく。 ・自然物等の気付きを一緒に楽しむ。 ・見通しをもって取り組めるようにする。 ・発見や工夫を伝えたり、一緒に調べたりする状況を作る。 ・何かに挑戦したいと思っている気持ちや、役に立ちたい気持 ちを認め、したいことをじっくり楽しめる時間と空間を保障す る。 ・栽培・飼育等は、子どもと相談しながら決めていく。	・絵本コーナーを設け、落ち着いてじっくりと絵本に親しめる 雰囲気づくりをする。 ・自分とは違う考えや気持ちに気付けるよう、自分の思いを伝 えたり、友だちの思いや願を聞いたりする場を設定する。	・全教職員に活動の意図を伝え、学校全体の協力体制を作る。 ・手遊びをしたり、遊びのコーナーや自由に使える材料コー ナーを作ったりする。 ・１５分程度の区切りの流れを意識した学習活動を構成する。 ・一日の流れを掲示して確認できるようにする。	・取り組んだことを多様な方法で表現できるようにする。 ・自分の成長は、周囲の人々に支えられていることや内面的 な成長に気づき、２年生への願いや期待感などをもつこと ができるようにする。 ・一人一人の成長や取組の過程を認めながら、友達の成長へ の気づき、学級全体の成長を喜び合えるように、児童のつ ぶやきや発言を認めたり、広げたりする。 ・文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現の よいところを見付ける。（国語科の「１年かんのおもいで ブック」との関連）
と家庭や地域の連携	・保護者に架け橋期のカリキュラムについて繰り返し周知する中で理解を図り、小学校入学に向けての準備へとつな ぐ。 ・日常的に、活動の中で見られる子どもの気づきや学びの姿を伝えるときに、そのよさや成長を共に実感する。	・保護者に架け橋期のカリキュラムについて繰り返し周知する中で理解を図り、教育活動において連携した取組にな るようにする。 ・様々なツールを利用して学校の中で見られる子どもの成長や学びの姿を伝えるときに、そのよさを共に実感する 場を持つ（学級懇談会等）。	大津町育ちのステップの周知と活用	